

2012年5月23日

ロシア関連メモ 089

国際公共政策研究センター  
主任研究員 石野 務

## 2011年度の政府実績についてのプーチン首相による国会での演説

### 1. はじめに

2012年4月11日、第6回国会において、ウラジミール・プーチン（当時は首相）は、2011年度の政府実績について演説を行った。

3月の選挙の結果大統領就任が決まった後の演説であり、今後の大統領としての活動方針を示したものとして注目されるものである。

なお、本演説で述べられた政策については、ロシア関連メモ 088 で報告した大統領令にも、具体的に反映されている。

### 2. 演説の概要

冒頭、2011年およびその前数年間の政府実績について述べている。ここでは、ロシア経済が、2008年から2009年までの経済危機を乗り越え、順調な成長を遂げ良い成果を収めたとしている。具体的な実績としては、人口が増加したこと、貧富の差の問題はあるが国民の収入が増加したこと、年金の増加が実現できたこと、国の負債のレベルも非常に低いレベルを保つことができ、外貨準備高を増加できたこと、インフレを下げることもできたこと、失業率を下げることもできたこと、ビジネスをより効率的で近代的なものとする事ができたこと、石油・天然ガスの備蓄や油田開発、オイルやガスのパイプラインの整備ができたこと、道路網や港湾の整備ができたことなどを挙げている。

国の負債レベルを低く抑えつつ外貨準備高を増加していること、石油や天然ガスの生産や輸送設備、道路、鉄道、港湾などのインフラ整備を充実させたことなどが特徴的である。

次に、これから政府が取り組むべき政策について述べられている。

まず、優先的に取り組むべき課題として、①ロシアの人口の維持・増加、②極東と東シベリアの開発、③新しい仕事の創設、④新しい経済の創設、⑤ユーラシア地域の新たな統合、の5つが挙げられている。経済力の強化が前面に出されているものと感じられる。

さらに、競争力のある投資環境の創造、銀行システムや証券市場の開発、国民福祉基金の運用の果実の利用、先進的産業への援助、政府機関からの不正の排除、教育への投資の強化、WTO加盟のメリット、地方政府や市町村の強化、ロシアの平均寿命の向上、文化施設の整備強化、住宅整備の強化、インフレの抑制などが挙げられている。ここには、プー

チン大統領のロシアの現状に対する問題意識が表れていると考えられる。第 1 に国力維持のための人的資源の強化を目指した育児、教育、住宅環境の整備や文化的施設の整備、第 2 に経済力の向上を目指した投資環境整備、金融制度の整備、先進事業への整備や、極東地域整備、そして、第 3 に政府機関の健全で効率的な運用を目指した、不正の排除や、地方政府や市町村の強化、この 3 つが大きな柱となっていると感じられる。

### 3. 演説主要項目

#### 1. 2011 年度の政府実績について

- ・ロシアの GDP は、2008 年の 41.277 兆ルーブルと比べ、2011 年には 41.421 兆ルーブルになり、危機前のレベルより少し高いレベルにまで回復した。
- ・ロシアの人口は増加し、2011 年末に 1 億 4 千 3 百万人を超えた。2008 年から 2011 年までに 7 百万人を超える新生児が誕生したが、これは過去数十年間で一番高いレベルである。
- ・危機にも拘らず、ロシア労働者賃金は、2008 年から 2011 年までの間に実質 18% 上昇した。  
名目上の上昇率は 75% で、平均労働者賃金は、2007 年の月額 13,593 ルーブルから 2011 年には月額 23,693 ルーブルに増加した。ただし、富裕層の収入は貧子層の 16 倍と、ドイツやフランスの 5~7 倍と比べて差が大きいのが問題。
- ・2008 年以降、ロシアの平均的な労働年金は 150% 増加した。
- ・2012 年 1 月より、退役軍人の年金が 60% 引き上げられた。また同時期より軍人の基本給が 3 倍となった。これは、他の省庁にも適用され、2013 年 1 月より警察やシークレットサービスにも適用される予定。
- ・大規模な集合住宅の修繕や、荒廃した家屋からの住民移動を行ってきたが、約 16 百万人にこの政策が適用された。
- ・過去の数年間に、23 の周産期センター、7 の高度医療センター、9 の連邦大学、29 の国立研究大学を建設した。また、過去の 4 年間に体育館やスイミングプールの数だけでも、20% も増加した。
- ・2011 年にロシア農業は、22% 成長した。ロシアは、世界で第 2 位の穀物輸出国となっている。
- ・2011 年に、固定資産への投資額は、記録的な 10.8 兆ルーブルに達した。過去 4 年間で、投資額を倍増。2004 年から 2007 年までに 17.9 兆ルーブルであったものが、2008 年から 2011 年に 36.7 兆ルーブルに増加した。
- ・ロシア企業の利益は、2011 年には約 16% 増加し、連邦政府全体の税収入も 27% 増加した。
- ・ロシアの負債は、GDP の 10% 以下で、しかも、外国からの負債は 2% にもならない。
- ・2012 年の 4 月 1 日時点で、ロシアの外貨準備高は 5000 億ルーブルを超え、中国と日

本に次ぐ、世界第3位の外貨準備高を保有している。

- ・過去の4年間で、インフレ率を13.3%から6.1%に引き下げた。(昨年の英国のインフレ率は4.5%、米国は3.2%、ロシアは6.1%)
- ・過去4年間にロシアは、医薬産業、IT、ナノ技術、建築資材、材木加工などを含む様々な産業において、2000以上の工場や生産ラインを建設した。
- ・2008年に、ロシアは2百万台以上の自動車を輸入したが、2011年にこの数値は半分になり、ロシア製車の市場占有率は40%から70%に増加した。ロシアの自動車市場は、非常に早く成長し、ヨーロッパではドイツに次ぎ2位、全世界でも第4位になった。
- ・2011年に、ロシアの企業の60%以上が、技術的な再装備、エネルギー効率化など、より性能の良い設備に投資を行った。2008年に国内企業における10年未満の新規設備の割合は、約30%であったが、2011年には40%に向上した。
- ・新しいロシア旅客機：スーパージェット100に着手した。これは、初めて、デジタル方式のものである。
- ・過去4年間に、バンコアや、タラカンにおける石油・天然ガスの備蓄や、ヤマルやヤクチア、サハリンにおける新たな油田発見が行われた。一方、国営企業は、カスピ海や北極圏の大陸棚での活動を開始した。東シベリア・太平洋間のオイルパイプの第一ステージが完成。ロシアは、製品のアジアや太平洋圏という急激に成長し将来の見込みのある地域への輸出を開始した。
- ・2011年にバルチック海の底から始まるノード・ストリームというガスパイプラインの開始により、初めて欧州市場と直接アクセスできるようになった。2012年末に、黒海の底で、サウス・ストリームを開始する予定。
- ・過去4年間に、12GWの発電設備が運転を開始した。
- ・2010年に、チターハバロブスク間の自動車道路建設が完成し、ロシアの歴史において、初めて、極東が国道のネットワークに加わった。
- ・今日の極東鉄道の輸送は、1988年に達成されたソビエトの最良の指標をも上回っており、ソビエト時代のピーク時より75%も増加している。
- ・ソビエト連邦の崩壊後、ほとんどの重要な商業用港湾は、国外に行ってしまったが、今日、ロシアの港の能力は、ソビエト時代の港における積み替え量を50%超えることができた。2015年までには、さらに50%増加するものと考えられている。

## 2. これから政府が取り組むべき政策について

### (1) 優先的に取り組むべきこと

- ・優先的に取り組むべき政策として以下5つが挙げられた。

#### ① ロシアの人口動態

人口を維持し、増加させるための新たな断固とした手段をとる必要がある。国家、社

会、宗教、教育文化機関の努力は、多くの子供を有した結びつきの強い裕福な家庭を促進することに向けられるべきである。

#### ② 極東と東シベリアの開発

現在、極東と東シベリアの開発を目的とした事業の実施を調整し監査する特別な機関の設立について検討している。検討結果は、近々公表される。

#### ③ 仕事の創造

現在、何百万人という国民が、低い賃金で、将来の見通しもないまま、時代遅れの効率の悪い職に就いている。国民に、面白くて賃金が高い新しい仕事を供給し、国民が高い生活水準と、大きな家族を支えることができる機会や収入を与える必要がある。ロシアの実質賃金は、2020年までに少なくとも、37~41%引き上げられるべきである。

#### ④ 新しい経済

重要性の面からは、おそらく一番大事。経済は、安定し、厳しい競争の下でも質的に向上しなければいけない。

#### ⑤ ユーラシア地域の新たな統合

関税同盟の設立や、国境の障壁を取り除くことにより、ロシアとベラルーシー、およびカザフスタン間の貿易は、昨年37%も増加した。次の段階は、ユーラシア経済同盟を2015年から開始すること。より進んだ協力関係に興味を有するほかのパートナーが、ロシア、ベラルーシー、カザフスタンに加わるものと考えている。

### (2)競争力のある投資環境の創設

- ・100の段階を定め、近い将来において、世界ランキング120位から20位まで引き上げることを目標に定めた。

### (3)銀行システム、証券市場の開発

- ・近代化を自分自身の資金で行うべきで、銀行システムや、機関や証券市場の開発に集中して取り組むべきである。

### (4)国民福祉基金の運用の果実の利用

- ・ある専門家は、国民福祉基金の運用から得られる果実を利用するべきであるとする。これらの資金は東シベリアや極東の開発に使えるかもしれない。また、ある専門家によれば、国民福祉基金からのお金の一部は、長期間のリスクのない戦略的プロジェクト、特にインフラ開発に用いることができるとのこと。

### (5)先進的産業への援助

- ・実業部門の借入の利用可能性を高め、金利を引き下げのために、金融システムを発展

させる。

- ・2012年当初に、ロシア輸出信用保険機構が、ハイテク製品で世界市場に参入しようとする中小企業に対する援助を開始する。2020年までにハイテク製品の輸出を少なくとも倍増し、GDPに対するハイテク分野や、知的財産分野の割合を1.5倍とする。
- ・連邦政府は、工作機械製造、エンジン製造、革新的材料製造、製薬、航空機製造、船舶製造などの非常に重要な産業の補助や、革新的活動のために、直接資金投資を行う予定。
- ・先進的な産業の育成センターと地域産業団地の設立を推進していく。近い将来、機械製造、医薬品、ナノテクノロジー、電子工学などについて、20~30の中心拠点を建設する予定。
- ・軍備の発注も、近代化の源泉となる。今後10年間で、約23兆ルーブルが、陸軍や海軍の再軍備や、軍事産業の近代化のために用意される予定。

#### (6) 政府機関からの不正の排除

- ・メドベージェフ大統領は、公務員にその出費について申告を行わせることについての法律案を、国会に提出した。公務員に加え、主要な公共企業の上級管理者や、国立大学の総長、主要な病院の上級管理職、そして可能であれば公的組織の経営階層も、毎年その収入と支出を報告すべきであると確信している。
- ・10億ルーブルを超える政府による購入に対する国民統制制度を導入する。政府が関与する全ての主要な事業について、技術面や価格面に対する国民審査を義務付ける。

#### (7) 教育への投資の強化

- ・教育と科学は、予算上最優先とされるべきもの。
- ・高等教育、特に国立研究大学における研究に対する投資を継続的に増やす予定。
- ・国営の学術団体や研究センターの研究員や、高等教育機関の教員の平均報酬は、2012年から2013年にかけて、それぞれの地域の平均報酬と同じ水準となり、2018年までには、その倍になる。
- ・2015年までに、我が国の大学や研究所に最高水準の国際的な専門家呼び寄せプログラムを新しくする。2018年までに、合計250億ルーブルに上る、科学的な研究を支える基金のための資金供給を段階的に実施する。
- ・2012年から2014年までに、合計で少なくとも50万㎡を超える面積に及ぶ新規の学生寄宿舎が建設される。さらに、学生が学業を行う間の家賃やその他の経費をまかなえるよう、関連した学生向けローンのシステムを設立する。
- ・2012年の末までに、専門的職業の水準を向上させる国家計画を開発する必要がある。

#### (8)WTO 加盟のメリット

- ・我が国が WTO のメンバーになることは、我が国の活力に満ちた革新的な経済のために、長期間にわたる強力な勢いを与えてくれるものと確信している。
- ・WTO 加盟についての交渉の終了により、ロシアが新たな多国間の機構に参加する条件が整った。それは OECD ある。OECD に加盟することは、品質についての国際的なマークを私たちの経済や、個々の製造業者に押すことを意味する。

#### (9) 地方政府や市町村の強化

- ・地方政府に関する仕事については、他と区別して丹念に取り組みたいと考えている。
- ・2012 年 7 月 1 日より、ロシア地域の全ての政府機関は、電子化する。
- ・地方政府や市町村により大きな独立性を与えるために、税金が市町村レベルに移される。現在、特別な税法の下で運営されている中小事業からの税金は、市町村レベルに移管される。
- ・優先されることには、地方の道路、都会の快適な施設を中小都市や村に整備すること、都会や地方の道路の修繕も含まれている。今後 2 年間で、約 1300 億ルーブルがこれらの目的に用いられる計画である。そこには、地方の道路の舗装化も含まれている。
- ・今後 10 年間にロシアにおける道路建造物を 2 倍にする予定で、国際基準に基づく試算で 120,000km に及ぶ国道や地方道を建設する予定である。

#### (10)ロシアの平均寿命の向上

- ・ロシアにおける平均寿命は、過去 4 年間に 2.4 歳延び、今では 70 歳を超えた。多くの先進諸国の平均寿命と同様になるように努力しなければいけない。
- ・喫煙、アルコール中毒、麻薬により、50 万人もの国民の命が奪われた。近々、学童の麻薬中毒の早期発見のシステムが導入される。それに続いて、一般大学や総合大学の学生に対しても、同様の対応を行うことを検討しなければいけない。また、麻薬やアルコールの使用への関わりを減らすために、麻薬取引・売買と、アルコール販売における法律違反の両方に罰則を与えるように、法律を改正しなければいけない。
- ・三人以上の子供を持った家庭に土地を無償で配分することもすでに決まった。
- ・妊娠後、子供が 3 歳になるまで、母親の職業上の技術を維持し向上させること可能とすることである。子供を多数有する母親や、障害のある子供を持った母親にとって、職業市場において職を探すことが一番困難とされていることから、彼らに手伝いが付けられるべきである。
- ・昨年、就学全児童教育発展政策の枠組みの中で、20 万人を越える児童に対応するために、保育所の収容可能数が新規に増加された。

#### (11)文化施設の整備強化

- ・ロシア連邦文化プログラムを承認し、2000億ルーブルの配分が計画されており、地方政府や市町村による、新たな文化的建造物や、劇場、図書館の改修・建設を助ける。また、420億ルーブルに及ぶ資金が、ロシア国民の文化遺産の修復に用意されている。
- ・博物館をサポートする予算は4倍に増やされ、今後の6年間で670億ルーブルに達する。
- ・全ての国民の居住地に関係なく、全国に情報技術を導入する。全国展開の電子図書館や、国立文化財団提供の映画や劇場公演の無料オンライン鑑賞を開始する予定である。

#### (12)住宅整備の強化

- ・2011年に、住宅建設量が再び増え総計780,000に及んだ。
- ・2015年までに、1.5倍の9000万平方メートルまで建設を増加させる計画である。これは、毎年150~200万戸の住宅や小規模住宅の新設を意味する。
- ・手ごろな価格の快適な住居は、透明性のある正当な価格の高品質の公共サービスを意味する。住宅分野は、競争に開かれ、民間投資に魅力的な近代的で効率的な部門に変えられるべきである。

#### (13)インフレの抑制

- ・政府は、2012年から2013年にかけて、年初のインフレを抑えるために、天然ガスや電気や暖房の料金改定を年度の中間に行うこととした。
- ・新政府が、自然に独占となっている事業の料金改定指標の水準やメカニズムを、慎重に策定すべきであるとする。費用構造、投資事業の透明性、そのような企業の資金調達方法については、適切な検討が必要である。国民や製造業者は、他人の非効率に対して支払いを行うべきではない。

#### 4. 仮訳 2012年4月11日

##### プーチン首相による2011年度の政府実績についての国会での演説



尊敬する議員の皆さん、私は、本第6回国会で全ての党の議員の皆さんとお会いできて光栄に思います。我が国は、ようやく国会議員選挙と大統領選挙運動の緊張から開放されました。この期間の感情の混乱や政治闘争の反響がまだ感じられるところです。しかし、選挙運動が終わった後でより重要な協力の段階に移行することは、近代民主主義のロジックでもあります。私たちは、今は、将来を見なければいけません。私は、私たちが、国家や、何百万人ものロシア国民の幸福や生活水準に対して、責任を共有していると考えております。

私たちはひとつの国家について責任を共有しております。従って、ロシアの高度の発展を目指して、異なる政治勢力が協力して、建設的な努力を行うようにしなければなりません。

2012年当初に、ロシアのGDPは、私たちが計画した通りに、危機の前よりも高くなりました。これは同時に、国家の経済が、2008年から2009年までの（部分的に2010年も）景気後退の結果から回復したことを意味します。具体的な数字を申し上げますと、ロシアのGDPは、2008年の41.277兆ルーブルと比べ、2011年には41.421兆ルーブルになりました。これは、危機前のレベルより少し高いレベルです。

私は、2011年や、その前数年の実績について報告します。これらの結果は良いものであり、私たちは恥じる必要はありません。これらは、政府のみによって成し遂げられたものでないことも指摘し、強調させていただきます。これらは、全ての産業分野や公共サービス分野における国民の勤勉な働きによるものであります。これらは、私たちの相乗効果の結果であります。私は、議席の多数を得ている与党と同様、政府の反対勢力となる野党についても言及いたします。何故なら、白熱した討論と協力によって政策が解決され、私がこの後で述べる良い実績を生み出したからであります。



私たちは皆、ロシアが、前代未聞の財政・経済危機に見舞われたことを覚えております。実際、それは最初の地球規模の危機でありました。それは、1998年の危機よりも、大規模で、非常に危険なものでありました。私は、当時、世界が歴史的な転換期にあり、劇的な変化の寸前にあると評した政治家や評論家達は、まったく正しかったと思います。それは、ロシアにとって、非常な試練でありました。私たちがそれに対応できなかったとしたら、私たちは、私たちの経済や社会のシステムを混乱させ、それ以上に、ロシアの統治性と地政学的な安定性を損ない、近代化や発展についての希望を失うところでありました。

私たちは、最近、欧州の国々で起こったことを見ることができます。これについてさらに話します。絶対的統治に関する事項についての決断が、超国家的な機関に委ねられた際に、それらの国家の一部は、本当にその統治性の一部を失ってしまいました。これは、特にロシアにとっても重大なことであります。しかし、私たちは混乱せずに、成熟し、創造性のある、自信に満ちた、内部の活力と強さを持ち合わせた国家として、しっかりと自国の立場を守ることができました。

本日、私は、全ての国民に対し、その回復力、忍耐、信頼について感謝いたします。私は、私たちの共通の責任や、社会的共同、国民の連帯のために、私たちが試練を乗り越えてきたことを誇りとしております。

私は、私たちの最も価値のある達成とは、ロシアの人口の増加であると思います。2011年末には、それは、1億4千3百万人を超えました。私たちは、今までの増加傾向にある人口動態が逆転するという危機を許しませんでした。

皆さんは、報道により、シベリアのクラスノヤルクスの人口が百万人を超えたことをご存知だと思います。

パームは、百万都市のレベルに戻ってきました。ボロネズや他の数件の都市は、百万人に届くものと考えられています。今年、ロシアで15百万人を越える都市が誕生します。2008年から2011年の間に、ロシアでは7百万人を越える子供が誕生しましたが、これは過去数十年間で最も高い出生率です。

私が毎日関わっていたのにもかかわらず、正直に言って想像していなかった興味深い事実があります。私が、本議会への報告の準備をしている際に数字を確認したのですが、ロシアの家庭が二番目や三番目の子供を作ろうとしていることです。過去の5年間で、2人の子供を持つ家庭の数は45%も増加し、3人以上の子供を持つ家庭の数は、62%増加しました。これは、もちろん、国民の、自分自身の可能性、家族、国家、将来、政府の能力や責

任に対する自信の反映であります。この状況について専門的な用語：「個人の将来展望の拡張」があります。これは、国民が明らかな安定性を感じている場合に生じるものです。

2009年に、私は、この部屋の同じ場所に立ち、政府の危機対策プログラムについて旧国会の議員の皆様の説明を行いました。その際、私は、私たちの努力は、第一にロシアの家庭に焦点を当てて行うべきであり、単純に危機を克服するだけでなく、私たちの長期的な目標を目指して、発展により克服すべきだと述べました。残念ながら、客観的な理由により、問題に直面し援助を必要とした人を全て救うことは不可能でした。しかし、私たちは、絶対多数の国民の利益を守ろうといたしました。1990年代や1998年に経済危機が何百万の国民にショックを与えたのとは異なり、2008年から2010年までの危機の間、政府は、試練に耐える能力があることを示しました。

私は、私たちが明言したどのコミットメントについても後退することはないことを強調いたします。もちろん、私たちは、全ての客観的な言い訳を指摘することは可能であり、それは極めて普通のことです。加えて、国民の大部分はこれを理解すると思います。世界の全ての国は同様に行動するでしょう。私たちは、状況を指摘するだけで何もしないこともできました。私たちは、単に何の反応も示さないことも可能でしたが、そうすることにより政治的にも経済的にも悪い社会となっていたでしょう。最も大事なことは、いつでの真実を語り、自分の言葉に責任を持つことです。

危機にも拘らず、ロシアの人々の収入が、平均的に落ち込まず、若干増加したことは、予期しなかったことです。この傾向は、最も困難であった2009年を含む過去4年間も継続しました。実際、2009年は、以前の他の年よりも少し成長率が高かったのです。2008年のインフレ調整後の成長率は2.4%、2009年は3.1%、2010年は5.1%、そして2011年は単に1%でした。2008年から2011年の間に、労働者賃金は18%上昇しました。これは、インフレ調整後の実際の値です。名目上の上昇率は75%でした。2007年の平均的な賃金水準は、月額13,593ルーブルでした。それが2011年には、月額23,693ルーブルになりました。一方、皆さんご存知のように、私たちにはまだ貧富の差があります。これは、私たちにとって非常な問題であり、富裕層の収入は貧困層の16倍も高いのです。残念ながら、過去数年間、このギャップは変わっておりません。私たちは、この問題に真剣に取り組まなければなりません。これは、計り知れない社会的、政治的、経済的リスクとの戦いです。

本事項について、他国と比較してみましょう。ドイツやオーストリアやフランスは、富裕層と貧困層の差は、5~7倍で、専門家は最も適切な割合としています。アメリカ合衆国は、その差は15倍で、わが国とほとんど同じです。BRICSのひとつであるブラジルは、非常に高く、39倍です。

私は、私たちがここで、私たちの重要な任務に戻り、今後数年間に、最低賃金が適切な水準に適合するようにならなければならないと信じています。その過程において、最低賃金を見直しより公正なものとするための機構を改良する必要があります。あの厳しい時代に、私たちは年金受給権の再評価を行いました。私たちは、年配者の権利を復元したのです。2008年以降、ロシアの平均的な労働者年金は、150%増加しました。

皆さんは、他の諸国に何が起こり、存続する危機の現象の背景に対応するために何をいまだに行っているかをご存知だと思います。ウクライナは、年金支給年齢を引き上げました。フランスは、60歳から62歳に引きあげました。皆さんは、ギリシャの均衡安定政策の実施に関して直面する問題についてご存知だと思います。詳しくは申し上げませんが。

今年の1月1日より、帰属する部署に関係なく、退役軍人の年金が60%引き上げられました。また、同年1月1日より、軍人の基本給が3倍になりました。これは、他の省庁でも同じです。2013年の1月1日より、他の法規執行機関や、シークレットサービスにも適用する予定です。

過去4年間に、約1.5百万人が、連邦の直接的な援助により家を手に入れました。ここには、約20万人の大祖国戦争の退役軍人も含まれます。

さらに、出産基金が百万人以上の国民の住宅問題を改善させました。本基金については、かつて約束したとおり、インフレ調整を行っています。2008年には、約276,000ルーブルでしたが、2012年には、387,640ルーブルになります。

私たちは、大規模な集合住宅の修繕や、荒廃した家屋からの住民の移動を行ってきました。この政策は、約16百万人に適用されました。

過去の数年間に、23の周産期センター、7の高度医療センター、9の連邦大学、29の国立研究大学を建設しました。毎年、5千以上のスポーツ施設が運営を開始しています。2008年と比較して、定期的に運動に参加する人の数は、6百万人増加しました。学校でもスポーツが復活しました。いまでは、毎週3回体育の事業を受けることが必修となっています。もちろん、これで十分ではありません。スカンジナビアの隣人を見てみましょう。そこでは、運動を行う人の割合はずっと高いのです。しかし、ロシアの傾向は、疑いなく良い方向に向かっています。

過去の4年間に体育館やスイミングプールの数だけでも、20%も増加しました。今日、ロシアには、旧ソビエト連邦の時の2倍の数のスイミングプールがあります。今後数ヶ月

で、ウラジオストックで開催される APEC 会議や、カザンでの学生スポーツ大会、ソチでの冬季オリンピックの準備の一部として、重要な施設が運営を開始します。私たちは、2018年の FIFA ワールドカップに向けて、インフラ建設を開始しました。これらの全ての事業は、世界水準からしても素晴らしいものです。

危機は、私たちにとって試練であり困難なものであったことは言うまでもありません。私たちは、複数の改革を行うために時間を費やし、神経をすり減らしました。けれども、私たちは、前進を続けました。

後退は、わずかなものでした。私たちは、これを認識し覚えています。私たちは、他の多くの国々よりも早く回復しました。今日、私たちは、G8 の中で一番高い経済成長率を有し、世界の主要な経済圏の中で最も高い成長率を有している国のひとつです。比較のためですが、成長率は、米国が 1.7%、EU 地域が 1.5%、インドが 7.4%、中国が 9.2%、ロシアが 4.3% でした。主要な経済圏の中で、私たちは 3 番目でした。

2009 年と 2010 年の厳しい旱魃の後の農業の復活について述べます。全世界的な財政・経済後退に直面しただけでなく、2 年間続けて旱魃に見舞われました。それにも拘らず、農業生産者に対する私たちの援助や農業生産者の効率的な活動により良い業績を収めました。2011 年にロシア農業は、22% 成長しました。ロシアは、世界で第 2 位の穀物輸出国となっています。

2011 年に、固定資産への投資額は、記録的な 10.8 兆ルーブルに達しました。過去 4 年間で、私たちは、投資額を倍増させました。2004 年から 2007 年までに 17.9 兆ルーブルであったものが、2008 年から 2011 年に 36.7 兆ルーブルになりました。

ロシア企業の利益も、2011 年には、約 16% 増加し、連邦政府全体の税収入も 27% 増加しました。

ロシアは、例外なく全ての重要な発展に関する指標において、良い傾向を示しています。一方、ヨーロッパの数カ国では、危機が慢性的な状況に陥り、長期化した景気後退と失業の増大をもたらしています。先ほど述べたように、財政赤字や公的資金の破綻が、国家の頭痛の種となっており、統治に関する決断を行う権利を失いつつあります。

IMF の試算によれば、全世界の公共セクターの負債は 2008 年から 2011 年の間に 14% 増加しました。欧州地区では GDP の 90%、米国では 100% を超え、イタリアは 100%、日本は 226% に達しました。中国は、10% 増加して GDP の約 27% となりました。ロシアは、

10%以下で、しかも、外国からの負債は2%にもなりません。

私たちは、深刻なリスクや負債のわなを避けて、この危機を克服することができました。私たちは、国の通貨の安定と、予算制度を維持することができました。G8の中でロシアだけが2011年に財政赤字なりませんでした。実際、私たちは少しの黒字を確保しました。米国の財政赤字は8.7%、日本は8.9%、フランスは5.7%、カナダは5%でした。

2012年の4月1日時点で、ロシアの外貨準備高は5000億ルーブルを超えました。より正確に言うと、5139億ルーブルでした。私たちは、中国と日本に次ぐ、世界第3位の外貨準備高を保有しています。私たちの国家福祉基金や、準備金は増加しています。準備金は、昨年、360億ルーブル増加し、現在、1兆8260億ルーブル強あります。国家福祉基金は、今日では2兆6240億ルーブルまで増加しました。

幸運なことに、私たちは、帽子を片手に誰かに物乞いを行う必要はありません。私たちの負債総額は、(GDPの)10%にも達しません。これは、全世界の中でも最高の国のひとつであり、G8のみならずG20やBRICSの国々の中でも最高であります。

私たちは、過去の4年間で、インフレーションの曲線を変えてきました。これは、とても重要な指標なので、皆さんの注意を喚起したいところです。私たちはインフレ率を13.3%から6.1%に引き下げてきました。私たちの近々の歴史の中で、このように低いレートはありませんでした。実際、私たちは国民や国家のインフレの負担を半減させたのです。これは、産業化された経済市場と比較してまだ高いですが、私たちは良いゴールに近づいています。比較のために示しますと、昨年の英国のインフレ率は4.5%、米国は3.2%、ロシアは6.1%でした。しかしこれは非常に早いペースで下がっています。

危機の間、私たちは、失業と闘うために、巨額の資金を費やしました。今では、失業率は危機以前よりも低くなりましたが、これは、重要な成果です。

皆様もご存知のように、スペインなどの問題のある国においては、失業率が25%に達しています。想像してみてください。就業可能年齢の4人に1人が、無職なのです。その他の国も本テーマについては、良い状態ではありません。

ここでも、全ての試練にも拘らず、私たちは、単純な生き残りよりも、発展の道を選んできたのです。

私たちは、批判されてきました。批判は、必須のものであり、一定の範囲で正当化され

ます。これについては後に触れます。しかし、過去4年間にロシアは、医薬産業、IT、ナノ技術、建築資材、材木加工などを含む様々な産業において、2000以上の工場や生産ラインを建設してきました。

ロシアの自動車産業において、どれほどドラマティックに風景が変わったのか見てみましょう。2000年代当初やそれ以前、特に危機の時代において、企業を廃止しようとする数多くの提案が行われました。もちろん、私たちはそれをせず、正しいことを行いました。今、私たちは複数の自動車製造グループを有しています。2008年に、私たちは2百万台以上の自動車を輸入しましたが、2011年にこの数値は半分になり、ロシア製車の市場占有率は40%から70%に増加しました。ロシアの自動車市場は、非常に早く成長し、ヨーロッパではドイツに次ぎ2位、全世界でも第4位になりました。

あの危機が、私たちの経済を揺り動かし、私たちのビジネスをより効率的で近代的なものにすることを促したと言えます。

重要なことは、このプロセスは現在進行形であるということです。2011年に、ロシアの企業の60%以上が、技術的な再装備、エネルギー効率化など、より性能の良い設備に投資を行いました。2008年に国内企業における10年未満の新規設備の割合は、約30%でしたが、2011年には40%に向上しました。

私たちは、航空機製造業者の苦悩を知っています。もちろん、私たちは、宇宙産業や、軍備産業においても問題を抱えています。私たちは新しいロシア旅客機：スーパージェット100に着手しました。これは、初めて、デジタル形式のものです。第5代目の戦闘機もテスト飛行を開始しました。私たちは、ポストチニーに新たな宇宙船基地の建設を始めましたが、これはもっぱら民間利用を目指したものです。GRONASS（人工衛星を利用した測位システム）の衛星事業は完全に準備できました。もちろん、これらのシステムに問題はありますが、これらは、私たちの軍事産業、安全、経済、技術にとって、極めて重要な運営なのです。

偶発的に、私たちはこれらの事業を、欧州のパートナーと同時に開始しました。私たちのパートナーが、まだ、軌道に5、6個の衛星しか保有していないのに対して、私たちは完全に整備しています。これは、たぶん、私たちが完全に私たちのパートナーを優越している数少ない分野のひとつでしょう。中国国民も類似のシステムを開発しようとしています。私たちは、当初予定したのよりも早くこれを開発することができました。もちろん、私たちは地図製作を行い、信号をより精緻なものにしなければいけません。まだまだ課題はありますが、私たちは本事業について長い道のりを歩んできました。そして、これが重要な

のですが、軍事産業については、2007年と比較して50%生産が増加しています。

過去4年間に、バンコアや、タラカンにおける石油・天然ガスの備蓄や、ヤマルやヤクチア、サハリンにおける新たな油田発見が行われました。国営企業は、カスピ海や北極圏の大陸棚での活動を開始しました。東シベリア・太平洋間のオイルパイプの第一ステージは完成しました。私たちは、製品のアジアや太平洋圏という急激に成長し将来の見込みのある地域への輸出を開始しました。私たちは、新素材の世界市場への供給まで開始しました。

昨年、バルチック海の底から始まるノード・ストリームというガスパイプラインの開始により、初めて欧州市場と直接アクセスすることができました。皆様は、疑いなく、これが私たちにとってどれだけ重要か理解いただけたと思います。ソビエト連邦の瓦解以後、私たちは、仲介者や、通過する国家からの束縛を感じていました。私たちは、今年末に、黒海の底で、サウス・ストリームを開始する予定です。

過去4年間に、12GWの発電設備が運転を開始しました。12GWですよ！これは過去何十年間のうちで最も優れた実績です。具体的な数値は以下の通りです。2008年に1.7GW、2009年に1.5GW、2010年に3.2GW、2011年に6GW。そして今年1年間だけでも新たに8GWの能力が加わる予定です。

2010年に、チターハバロブスク間の自動車道路建設が完成しました。ロシアの歴史において、初めて、極東が国道のネットワークに加わりました。私たちは、この自動車道路を、年や村へのアクセスの確保や、必要な道路インフラを整備することにより、最も近代的な世界水準に適合するようにする必要があります。

高速鉄道に関する計画も始まりました。50以上の非常に複雑なトンネルや橋梁が建設されました。バイカル・アムール幹線や、トランス・シベリア鉄道の近代化も進行中です。

ところで、今日の極東鉄道の輸送は、1988年に達成されたソビエトの最良の指標をも上回っています。これは画期的なことです。ソビエト時代のピーク時より75%も増加しているのです。

他にも重要な事例があります。ソビエト連邦の崩壊後、ほとんどの重要な商業用港湾は、バルチック海もカスピ海も黒海もアゾフ海も、皆国外に行ってしまいました。ソビエト連邦が巨額の資金投入を行っていたのにも拘わらず、ロシアは、一夜にして全ての重要港湾を失ったのです。正直なところ、当時、このインフラ依存から逃れることは不可能と思われました。今日、ロシアの港の能力は、ソビエト時代の港における積み替え量を50%超えることができました。2015年までには、さらに50%増加するものと考えられています。

過去 4 年間に振り返りましたが、私たちは、ロシアが危機から回復したばかりでなく、明白に前進したと、自信を持って言うことができます。私たちは強くなりました。

議員の皆さん、過去の選挙運動において、私が、私たちが優先的に取り組むべきことを列挙したことを覚えていますか。これらは、大統領候補者として示したものであり、大統領としての私の最初の宣言は、私が示した全ての政策に工程表をつけることも含まれています。実際、これはもう始めています。私は、私たちの国家としての歴史的な繁栄に関係する戦略的、基本的に重要な事項に集中すべきと考えます。

第一は、ロシアの人口動態です。これは全ての国民は懸念していることです。私たちは、最も厳しい人口減少が認められた 1990 年代と同じように、重大な課題に直面していることを認識すべきです。私たちは、私たちの人口を維持し、増加させるための新たな断固とした手段をとる必要があります。しかし、私たちが基本的な道德価値に関する伝統的な考え方に立ち戻らない限り、どんな社会経済政策も安定した結果を生み出しません。国家、社会、宗教、教育文化機関の努力は、多くの子供を有した結びつきの強い裕福な家庭を促進することに向けられるべきです。

二番目に、ロシアは、世界で一番広い領土を有しています。私たちは、外部からの脅威に対して私たちの領土を守り、維持し、国の全ての地域において近代的な住環境や労働環境を供給しなければいけません。私たちは、極東と東シベリアの開発に多くの注意を払わなければなりません。これは、絶対に必要な地政学的な課題です。私たちは、極東と東シベリアの GDP の成長を、国の GDP の成長と比較しても、より高いものとする必要があります。この方向性は少なくとも 10 から 15 年間続ける必要があります。確かに、これらの地域では、今でも観察される流出ではなく、しっかりした人口の増加を達成しなければなりません。幸いなことに流出の速さは和らいでいますが、それでもまだ存在します。私たちは、人口を確保しなければいけません。

私たちは、現在、極東と東シベリアの開発を目的とした事業の実施を調整し監査する特別な機関の設立について検討しています。検討結果は、近々公表されます。

私たちの第 3 番目の優先事項は、新しい堅実な仕事の創造です。現在、何百万人という国民が、低い賃金で、将来の見通しもないまま、時代遅れの効率の悪い職に就いています。私たちは、国民に、面白くて賃金が高い新しい仕事を供給し、国民が高い生活水準と、大きな家族を支えることができる機会や収入を与える必要があります。ロシアの実質賃金は、2020 年までに少なくとも、37~41%引き上げられるべきです。私たちは、障がいを持った人々の雇用も促進しなければなりません。そのために、国全体にバリアフリーの環境を築く必要があります。堅実な仕事を創造することは、私たちの人的資源に対する需要をかなえるために欠くことのできないことです。中間層を増やすことは、貧困の克服の解決策と



なります。これは、何百万人という国民にとって、その夢を実現するための機会となり、これが、国家経済の真の多様化に結びつくのです。

そして、私たちの 4 番目の目標は、新しい経済です。これは重要性の面では 4 番目ではありません。重要性の面からは、おそらく一番大事でしょう。経済は、安定し、厳しい競争の下でも質的に向上しなければいけません。私たちは、いかなる外部のショックに対しても準備ができていなければいけません。ご理解いただいていると思いますが、危機がまた発生する確率が高いのです。世界は、乱気流の時代に入りました。加えて、技術革新の波があります。世界市場の配置もまた変化しています。

本日の会議に先立ち、野党側から数件の質問がありました。本スピーチでそのうちいくつかに答えます。アメリカ合衆国は、過去数年間に、シェールガスの生産に関する技術を開発しました。ロシア自由民主党の議員がこのことと、それに対する私たちの考え方について質問しました。これは、炭化水素の市場の劇的な再構築をもたらします。ロシアのエネルギー企業は、間違いなくこの課題に直面します。私は、この議員から出された、マクロ経済、金融、技術、そして防衛について長期間の見通しを行うシステムを創設するという提案に賛成いたします。21 世紀は、新しい地政学、金融、経済、文化、文明の世紀となることが約束されていることから、これはいっそう重要になります。

従いまして、私たちの 5 番目の優先事項は、特に、ユーラシア地域の新たな統合により、世界におけるロシアの地位を強くすることです。議員の皆さん、関税同盟の設立や、国境の障壁を取り除くことにより、ロシアとベラルーシー、およびカザフスタン間の貿易は、昨年 37% も増加しました。今年の初めから、私たちは、商品、資本、労働力が自由に移動できる共通経済圏の枠組みの中で、より緊密な統合体制について取り組んでいます。さらに、今年の 1、2 月、3 国間の貿易額は、13% 増加しています。

ベラルーシーやカザフスタンのパートナーと共に、私たちは、マクロ経済、税関活動、技術的な規制の分野において、ユーラシア経済同盟という超国家的機関に対して、基本的権限を譲渡しています。実際に、これは、統合過程を不可逆なものとしします。

ここで、関税同盟と共通経済圏の創造が、ソビエト連邦崩壊後の旧ソビエト圏における、地政学的な統合にかかる重要事項であったことを強調させていただきます。

私たちの次の段階とは、ユーラシア経済同盟を 2015 年から開始することです。私たちは、より進んだ協力関係に興味を有するほかのパートナーが、ロシア、ベラルーシー、カザフスタンに加わるものと考えています。

ユーラシア圏における新たな統合というアイディアは、ますます魅力的になっています。過去 20 年間にわたり私たちが獲得した生活の現実性や経験により、全てが準備されました。一人では、現在の世界的な乱気流による課題に対応できないことが明白になりました。独立国家共同体のパートナーが、共同作業により多くの興味や共感を示しているのは驚くに当たりません。例えば、独立国家共同体における無関税地域に関する大まかな話し合いが過去 10 年間に行われましたが、何も実を結びませんでした。しかし、昨年、無関税条約について専門的な話し合いが行われた後、すぐに調整がなされ、契約が行われました。この極めて重要な条約を最初に批准していただいた議員の皆さんに感謝いたします。

議員の皆さん、私たちの試算によりますと、ロシアはこの 2、3 年のうちに、購買力において、世界における 5 つの最も大きな経済圏のひとつとなります。しかし、労働生産性の面、言い換えると経済の質では、最も進んだ経済圏にははるかに及ばず、67~75%くらいです。

労働生産性の低さという問題を解決する自然な方策は、最新の仕事を創造することです。私がすでに申し上げました通り、今後数年間に少なくとも 25 百万の仕事を創造する必要があります。私たちの戦略的目標は、仕事や経済全般についての継続した更新を行う仕組みを開始することです。仕事は、直接投資、第一に民間資金による投資によって生み出されます。私たちは、投資水準を、2015 年までに少なくとも GDP の 25%まで、その後に 30%まで引き上げる必要があります。この目標は、間違いなく達成できます。2011 年に 20%でしたから、25~30%の成長は間違いなく可能です。

期待のできる、競争力のある投資環境がロシアに創設されることが必要です。私たちは、その方向性のために、100 の段階を定め、近い将来において、世界ランキング 120 位から 20 位まで引き上げることを目標に決めました。ちなみに、日本は 20 位、ラトビアが 21 位です。関税同盟や、共同経済圏の私たちのパートナーは、私たちよりも上位にいます。ベラルーシーは 69 位、カザフスタンは 47 位です。

今日、民間企業は、期待のできる開かれたマーケットに対する強く合理的な要求を有しています。自分自身の可能性を実現すること、創造を行うこと、自身の才能や労働に対する需要を見つけること、ロシアに貢献することという要求は、私たちの生活のほぼ全ての領域に存在します。私たちは、確実にこの要求を満たすべきです。

戦略政策局の創造により、社会と国家の直接対話が可能となりました。今日、これは、社会政策の推進や産業推進の実質的な手段となり、良い仕事や事業を普及させ援助し、前向きで創造的な意欲を有した新しい人々に機会を与えています。実際、本局は、経済成長

や、社会分野、政府機関を管理しています。

2011年12月に、国の産業政策についての着想が前進しました。それは、産業界が投資環境を改善させるための提案を策定するということを暗示するものです。私たちは、本件に注意を向けることを継続すべきです。私たちが、ビジネスの環境を向上させなければ、経済や社会分野における私たちのゴールを何も達成できなくなります。

私は、望ましい発展について述べましたが、ここではビジネス環境について話します。「Doing Business」という評価機関があります。これは、申し分のない評価を得ている機関ですが、その評価によれば、建設業の分野におけるビジネスの行い易さにおいて、ロシアは世界で第178位です。178位ですよ。

私は、ほとんど全ての政府の会議で、この分野において行われるべき政策について述べてきましたが、進展はとても遅かったのです。議員の皆さん、本分野における確固たる措置、共同努力について考えてください。今年の本末までに、私たちは、ビジネス環境を見違えるほど改善させ、投資家に追加の保証を供与することも目的として、何件もの法律の改定を行う予定です。特に、私たちは、国や地方政府のレベルで企業家の権利を守るためのオンブズマンの組織を設立します。昨日、メドベージェフ氏と私は、本件を取り扱う特別な検察機関を設立すべきかどうかについて話し合いました。私は、皆さんに助言を求めます。本件に対処するために最も効果的な手段を一緒に探しましょう。私は全ての党の議員の皆さんに投資環境の向上のための法律制定を最優先事項と認めるだけでなく、これらの法律の共同起案者になっていただきたいのです。

私たちは、新たな予算手続きの最初の段階で、議会に、課税立法の提案を提出いたします。それは、製造部門や投資に対する経済的な負担を軽くする一方、不振な消費や年金への支払いを増やすことを要求するものです。私たちは発展を推進させる公正な課税システムを必要としています。

次に、不安定な世界の金融市場が、私たちに、近代化を自分自身の資金で行うべきことを教えてくれました。私たちは、銀行システムや、機関や証券市場の開発に集中して取り組むべきです。

今年は、国民貯金の投資機会を増やす政策決断を行わなければなりません。特に、これは長期の年金資金も含みます。やはり、重要な条件は、適正なりターンを確保することと、年金基金の絶対的な安全性です。

すでに述べたように少し増加している支払準備金、国民福祉基金は、マクロ経済の安定性を保証するのに重要な役割を果たしています。2008年から2009年の経験から、そのような緩衝を持っていることの重要性がわかりました。私は、この観点から、私たちはとても注意深くあるべきだと信じております。資金がないという理由で私たちの貯えを費やすことは簡単ですが、特に暴力的で不確かな世界経済に直面する近代社会においては、この貯蓄を失うことは危険なことであります。

誰に助けを求めたらいいのでしょうか？例えば、ギリシャは、ブラッセルにお金を要求し、ブラッセルはお金を払いました。しかし、誰が私たちにお金を与えてくれるのでしょうか。誰かがお金を貸してくれるかもしれませんが、どのような条件になるのでしょうか？ギリシャでさえも、ある決定を受け入れる際にその統治権を失いました。これは、私たちにはもっと厳しいこととなるでしょう。私は、2000年に起こったことを覚えています。当時、私たちは莫大な借入れを行い、過酷な条件をつけられました。ロシアは、特別です。何の貯えもないことはとても危険です。

しかし、私たちはこれを検討することはできます。私たちの政府の専門家は、本論点について、激しい討論や議論を行いました。例えば、ある専門家は、国民福祉基金の運用から得られる果実を利用するべきであるとしています。これは、元金には手をつけずに、果実部分を開発目的に使うということです。これらの資金は東シベリアや極東の開発に使えるかもしれませんが。また、ある専門家によれば、国民福祉基金からのお金の一部は、長期間のリスクのない戦略的プロジェクト、特にインフラ開発に用いることができるということです。私たちは、これについて考えることができますが、とても注意すべきです。

本事項については、私たちが結論を出す前に、私たちは専門家レベルで、疑問の余地のない合意に達している必要があります。私たちは、貯えなしでも発展してきたことがあるとしても、このような事項について合意に達するために最大限の努力を行う必要があります。一方で、私たちには迅速性が必要です。オリンピックのスローガンに、「より高く、より速く、より強く」というものがあります。私たちは、経済と社会分野について非常に注意深くなるべきです。ただし、論議を妨げるものではありません。みんなで考え協議していきましょう。

私たちは、実業部門の借入の利用可能性を高め、金利を引き下げるために、金融システムを発展させます。私は、すでに、ビジネスや個人向けの効果的な貸付利息水準を作り、最も重要なことですが、この作業をまったく隠しだてなく行い、隠された銀行手数料を利息から追い出すことについて指令を出しました。

次に、私たちは、過去数年間に、何組もの開発機関を設立しました。しかし、それらのいくつかは、利用しにくく非効率的でした。これらは、多くの場合外国の取引先よりも劣っていました。私たちは、経済団体と共にこれを監査し、これらの活動を改善する提案を策定し、我が国の開発機関に国際水準の競争力を備えさせる必要があります。

開発機関は、何千という我が国の企業にビジネスの手助けを行うものとして考案されました。2012年当初に、ロシア輸出信用保険機構が、ハイテク製品で世界市場に参入しようとする中小企業に対する援助を開始します。私たちは、2020年までにハイテク製品の輸出を少なくとも倍増し、GDPに対するハイテク分野や、知的財産分野の割合を1.5倍にしなければなりません。

2013年までに、国が部分的に出資を行っている企業によって行われるプログラムについてだけでも、国内のイノベーションに対する需要は1.5兆ルーブルに達します。連邦政府は、工作機械製造、エンジン製造、革新的材料製造、製薬、航空機製造、船舶製造などの非常に重要な産業の補助や、革新的活動のために、直接資金投資を行う予定です。

共産党の議員が、これらの分野における将来の手順について文書により質問してこられました。議員の皆様からの質問もお聞きした上で、詳細をお伝えします。

重要なことですが、イノベーションは、ビジネスにとって有益です。私たちは、ロシアの企業と国際的な先進企業間の技術提携をサポートしていきます。私たちは、特に、私たちにとってとても重要な、全てを行う製造工程や、デザインセンター、ロシアの国境内で行われる先進的な産業発展について重点的に取り組みます。ロシア国内で、国から60～70%に上る高い出資がなされた製造業に対する、ローカリゼーションや規制については、必要条件であるばかりでなく、海外の投資家に対する私たちの交渉を有利にするものであります。私たちは、デザイン・テクノロジーセンターの整備も促進しようとしています。

私たちは、先進的な産業の育成センターと地域産業団地の設立を推進しています。私たちは、近い将来、機械製造、医薬品、ナノテクノロジー、電子工学などについて、20～30の中心拠点を建設する予定です。

軍備の発注も、近代化の源泉となります。ご存知のように、今後10年間で、約23兆ルーブルが、陸軍や海軍の再軍備や、軍事産業の近代化のために用意される予定です。軍事や民間の工場は、調査センターや大学と同じように、政府から莫大な発注を受けることになります。

政府の軍備の発注を行うルールは、失敗を排除するために、厳密化されてきました。これからは、3年、5年、7年にもわたる長期の軍備の契約を締結することとします。業務の仕様書の変更は、首相の指示によってのみ行われることとします。軍備の優先度についての変更は、大統領の承認があってはじめて行われることとします。

共産党の議員から、軍備の将来について質問がありましたので、概略をお伝えします。私たちは、4月15日までに政府の発注にかかる契約についての全ての手続きを終了しなければなりません。ところで、今年度の政府予算は、2011年より少しだけ大きくなっています。私たちは、軍事産業群による不正を取り締まらなければなりません。本分野における汚職は容認できません。これは、価格の引き上げや、商業上の賄賂にも適用されます。本領域について私たちは、断固として対応しなければいけません。

もちろん、行政の新たな質や、業務の新たな実施方法、公務員の新たな行動基準は、不正の削減に大きく貢献してきました。皆さんをご存知のように、メドベージェフ大統領は、公務員にその出費について申告を行わせることについての法律案を、国会に提出しました。私は、まったくこの提案に賛成です。私は、公務員に加え、主要な公共企業の上級管理者や、国立大学の総長、主要な病院の上級管理職、そして可能であれば公的組織の経営階層も、毎年その収入と支出を報告すべきであると確信しています。

私たちは、10億ルーブルを超える政府による購入に対する国民統制制度を導入します。政府が関与する全ての主要な事業について、技術面や価格面に対する国民審査を義務付けます。最終的に、私たちは、事業の実績結果や事業の実施についての国民審査についての明解な指標を伴う国家プログラムに基づいた、連邦予算の形成を開始します。

もう一度申し上げますが、保健医療、教育、ロシアの文化、社会保護の促進など国の政策は、疑いなくまた当然に、開発に優先するものであり、地域、手段、実績結果に応じた独自の対象があるものです。

教育と科学は、予算上最優先とされるべきものです。私たちは皆、これら二分野が、ロシアの知的・技術的な強さと、人的資源を形成することを理解しています。長期間にわたる基礎研究プログラムの提案を改善します。このプログラムは、国営の学術団体、研究センター、および高等教育で行われている研究をひとまとめにするものです。このプログラムは、ロシアが、技術的、科学的に進んだ国となる手助けになる計画に集中して取り組むべきです。

私たちは、高等教育、特に国立研究大学における研究に対する投資を継続的に増やす予

定です。私は、全ての高等教育機関に対する要求を厳しくし、責務についての効果的な基準を定めるべきだと信じています。ロシアの卒業証書は、国内でも、海外でも評価されなければなりません。

国営の学術団体や研究センターの研究者や、高等教育機関の教員の平均報酬は、2012年から2013年にかけて、それぞれの地域の平均報酬と同じ水準となり、2018年までには、その倍になります。

少なくとも2015年までに、我が国の大学や研究所に、最高水準の国際的な専門家と呼び寄せるプログラムを新しくします。2018年までに、合計250億ルーブルに上る、科学的な研究を支える基金のための資金供給を段階的に実施します。これには、基礎研究や人道的な研究も含まれます。

さらに、研究者による最良の調査研究に対して、特別な助成金が与えられます。最高水準の国際的専門家の招聘について、このプログラムは効果的に働くと信じています。私はロシア国内をよく旅行し、研究所を訪問したり人々と話す機会がありました。海外で何十年も働いた後に戻ってきた人もいましたし、ロシアに働きに来た海外の専門家もいました。

海外の専門家に対する我が国の条件のひとつに、少なくとも3ヶ月は、一箇所の大学や研究所に滞在しなければいけないというものがあります。しかし、彼らは、6ヶ月くらいで切り上げ、ここでチームを作ろうとします。彼らの目標は、単に製品を作るだけでなく、それを市場に持ち込むことであり、効果的に実践しています。

2012年から2014年までに、合計で少なくとも50万㎡を超える面積に及ぶ新規の学生宿舎が建設されます。さらに、私たちは、学生が学業を行う間の家賃やその他の経費をまかなえるよう、関連した学生向けローンのシステムを設立します。

お気付きであると思いますが、私たちは現在も学生向けローンを提供しています。ただし、それは、学費のみを対象としたものです。現在のローンでは、他の経費をまかなうことができません。大学で学費免除とするところも増えるのですが、私たちはこの点を考慮して、学費以外の目的にも使えるローンを提供していきます。

もうひとつ、私が前に書いたことがあるのですが、良い成績を収めた生徒で資金が必要なものに対する毎月の給付金は、少なくとも5000ルーブルとすべきです。これについての法案はすでに可決されました。

私たちはまた、熟練労働者を育成するシステムを創造しなければなりません。工業高校や専門学校の教授や職業訓練指導者の地位を向上させることなしにはこれではできません。この教育の水準は地方政府の責任であり、地方政府は、工業高校や専門学校の給与水準を、その地域の平均給与の水準に合わせて引き上げる責任があります。本指令に対して無条件で従うことが、連邦予算から支給を受けるための条件であることを留意してください。

もちろん、私たちは、経済界からの要求に合わせて、労働者が直接職業訓練の運営に参加する権限を与えることにより、職業訓練機関の質を向上し、問題を解決していかねばなりません。

私たちは、古いシステムが働かないことに気づいています。ほかに新たな方策があるのでしょうか？それは存在し、非常に魅力的です。今のところ非常にまれにしか用いられていないので、その実践を増やすべきです。これはとても重要です。

2012年の末までに、私たちは、専門的職業の水準を向上させる国家計画を開発する必要があります。専門性の競争力についての効果的なシステムこそが、キャリアアップや社会的地位の向上につながります。

皆さん、世界貿易機構に対するロシアの加盟について一言述べさせてください。この事項について、自由民主党や共産党の議員から質問がありました。私は、我が国がWTOのメンバーになることは、我が国の活力に満ちた革新的な経済のために、長期間にわたる強力な勢いを与えてくれるものと確信しています。WTOの開放性や競争の増加は、ロシア国民の利益となり、我が国の企業家は、更なる発展のために必要な刺激を受けることとなります。WTOの会員であることは、私たちが今までに見ることも近づくこともできなかった新しいマーケットや新しい顧客をもたらします。最後に、WTOの会員であることは、民事や法律的な事項において我が国の利益を守る可能性をもたらします。

WTO加盟についての交渉の終了により、ロシアが新たな多国間の機構に参加する条件が整いました。それは、OECDです。私たちは、すでにそのような研究を行っています。OECDに加盟することは、品質についての国際的なマークを私たちの経済や、個々の製造業者に押すことを意味します。私は、本件について詳細を詰めて行きたいと思います。

もちろん、あまり検討せずにWTOに参加し、何もそこから得られないことになることもあります。そのプロセスにおいて、自らが傷を負うこともあり、私たちは過去にそれが生じた事も知っています。しかし、私たちは、他の国々が行ったように、WTOの会員であることの利点を、自国の成長に役立てることもできます。私たちも、WTOに長く参加してい



た国々が行ったように、WTO の助けを自国の利益のために用いることが必要です。

さらに、私たちは、今では、新たな現実や競争の激化が、ロシア経済やロシアの製造業者にとって深刻な課題となることに気付いています。商業者や製造業の団体と一緒に、私たちは、状況について慎重に扱うべきすべての事項を検討し、特に自動車製造業、農産業、農業危機製造業などの国内の製造業者に対して、柔軟に援助を行う特別なメカニズムを開発しつつあります。

農業については、我が国は、今年、WTO の要求事項が全て盛り込まれた 2020 年まで続く、新たな農工業プログラムを採用します。このプログラムの優先事項の一つに、農作物が植えられていない農耕地の活用があります。わたしは、これについて多くの質問があるのではないかと思います。私たちは、今後 7 年間に、農業利用されている農耕地を、少なくとも 100 万ヘクタール増やすことを計画しています。

皆さん、私は、地方政府に関する仕事については、他と区別して丹念に取り組みたいと考えています。かなりの数の問題や懸念が報告されており、一方で、快適な生活環境の整備についても進められています。連邦政府のレベルで、電子政府の仕組みがすでに用いられており、書類を得るために、何百、何千という人々が、建物から建物に移動する必要はもうなくなりました。最初の部分で、ロシアのビジネス環境や、他の類似するランキングについて、連邦によって集められたどちらかといえば不快な数値を示しました。ただし、電子政府については、1 年間で 59 位から 27 位に、30 位以上好転することができました。2012 年 7 月 1 日より、ロシア地域の全ての政府機関は、電子化します。

皆さん、この仕事は、ロシア政府によってこれまで行われてきた仕事と比較して、よりいっそう複雑です。これは、政府にとっても大きな挑戦であります。これは中央集権的な方法で進められます。私たちの次の仕事は、地方政府や市町村を電子サービスに変えていくことで、これは、非常に複雑です。皆さんは、議員として地方を基盤とされているので、この事項に重点的に取り組んでいただきたく思います。実際、仕事の質は、皆さんに直接依存します。

もちろん、私たちは、多目的センターを含む、ワンストップサービスの提供を続けます。そのようなセンターの設立のための資金は、官僚機構の合理化によって捻出します。これは、まさに、連邦政府で行っていることです。2013 年までに、連邦政府職員の削減は 10 万人に上ります。私たちは、連邦閣僚や省庁の代表者に対する個人業績評価を導入する予定です。

私は、地方政府や市町村が、政府と同様のスコアリングシートシステムを、職員の評価のために導入すべきであると信じています。これは、はっきりした評価基準に基づく必要があります。

私たちは、ロシアに好ましい投資環境を作るための基準を導入する事業を開始しました。その目的は、全ての地方行政が活用できる最良の商慣習を作ることです。私は、皆さんが、石油や天然ガスの算出も資金もない地域でも、非常に良い業績を上げ、海外からの資金も含む多くの投資を得、**GRP** の数値の伸びがロシアの平均よりもずっと良いという事例があることをご存知だと思います。

最初のステップとして、地方政府や市町村により大きな独立性を与えるために、税金が市町村レベルに移されます。現在、特別な税法の下で運営されている中小事業からの税金は、市町村レベルに移項されます。

さらに、私たちは、市町村に対する交付金を定める明確なメカニズムを開発します。人々はいつも、物事が混乱していると訴えています。誰がどれだけ資金を交付されるかについて明確なルールがありません。これは解決されなければなりません。これについても、私たちは、資金を地方に移すことについて用意ができています。もっとも、地方政府や市町村が、資金を国民の生活の向上を第一にして賢明に使うことが重要です。

私たちは、すでに、「改善」の概念を法制化し、本事項についての市町村の義務を定め、地方政府を助けることとしています。2010年から2011年にかけて、連邦予算の補助により、ロシア地方の全ての首都において道路の改修と補修を行いました。このような仕事を他の地方にも広げる事は、道理に適ったことであります。

そこで、私たちは、地方道路基金の資金を使う**3**つの優先地域を選びました。調整が行われ、主な資金がそこに集められました。ある地域では、今年度の道路への出費は、昨年度の**3**倍になります。

優先されることには、地方の道路、都会の快適な施設を中小都市や村に整備すること、都会や地方の道路の修繕も含まれています。今後**2**年間で、約**1300**億ルーブルがこれらの目的に用いられる計画です。そこには、地方の道路の舗装化も含まれています。

私たちは今後**10**年間にロシアにおける道路建造物を**2**倍にする予定で、国際基準に基づく試算で**120,000km**に及ぶ国道や地方道を建設する予定です。

公正ロシア等の代議士が、ヤクーツクの近くのレナ川を渡る方法について質問されまし

た。

議員の皆さん、この事業はとてもお金がかかります。当初の試算では、790億ルーブルかかる予定でした。私たちはその数字を念頭に、トンネルや橋など最良の選択について検討しました。私たちはこの道路がどこにつながるのか、本建設にどのような経済効果をもたらされるのかについて、理解しなければいけません。790億ルーブルというのは、大きな賭けですから。私は、この建設が必要ないとは言いませんが、しかし、私たちは、すべてのことに重み付けを行い慎重に検討する必要があります。

議員の皆さん、ロシアにおける平均寿命は、過去4年間に2.4歳伸び、今では70歳を超えました。私たちは、多くの先進諸国の平均寿命と同様になるように努力しなければいけません。私は、皆さんに、2007年に私たちが定めた、2025年までにロシアの平均寿命を75歳まで引き上げることを盛り込んだ「人口政策の構想」を思い出してください。専門家は、近年の傾向を勘案して、本目標は2018年までに達成できるとしています。私は、これを私たちの目標とすべきであると思います。

私たちは、死亡率を低めるためにまだ採られていない手段を多く有しています。私は、主に。交通事故、労働災害、薬物中毒、特にアルコール中毒などの、いわゆる予防可能な死因について言及したいと思います。私たちはまた、喫煙による疾病を原因とする死亡を減らすために努力しなければいけません。私たちは、腫瘍、心臓病、伝染病の予防システムと治療を強化しなければいけません。

喫煙、アルコール中毒、麻薬により、戦争や大規模災害もないのに、50万人もの国民の命が奪われました。これは、単純に恐るべき数字です。近々、学童の麻薬中毒の早期発見のシステムが導入されます。それに続いて、私たちは、一般大学や総合大学の学生に対しても、同様の対応を行うことを検討しなければいけません。

また、麻薬やアルコールの使用への関わりを減らすために、麻薬取引・売買と、アルコール販売における法律違反の両方に罰則を与えるように、法律を改正しなければいけません。

困窮に瀕している家庭に対して、私たちは、第一に子供たちの世話をを行い、社会的な仕事を行い、飲酒や反社会的行動を放棄するという、正常な人間らしい生活を送るという状態を目標に、社会的なアプローチを行います。

私は、家庭のサポート、母親や子供の保護などについて、私たちがすでに実施してきた

プログラムは、効果があったことを指摘いたします。例えば、モルドビアのヤロスラビやロシア連邦の他の地方で、出産センターが設立された地域では、乳児死亡率が 20%も低下しました。

三人以上の子供を持った家庭に土地を無償で配分することもすでに決まりました。残念なことに、地方政府においては、本決定に対する違反や、供給不足が生じています。私は、議員の皆さんに、本件についても監視を行っていただきたいのです。土地の配分に関する決定は、地方政府や市町村の他の決定と同時にされるべきです。土地だけで価値がありますか？私たちはそこに建物を建設することも必要なのです。

もちろん、私たちも、連邦レベルで家庭を援助するための新たな政策を行います。

私がすでに申し上げたように、何年も続いた人口動態の減少が発生しているロシア連邦に属する地域において、3 番目以降の子供が誕生した家庭に対する特別な手当が整備される予定です。これは、乳児が 3 歳になるまでの、毎月最大 7000 ルーブルの支給になる見込みです。

もうひとつ重要な政策は、妊娠後、子供が 3 歳になるまで、母親の職業上の技術を維持し向上させることを可能とすることです。子供を多数有する母親や、障害のある子供を持った母親にとって、職業市場において職を探すことが一番困難とされていることから、彼女達に手伝いが付けられるべきです。

そして、私たちは、何にもまして、就学前児童教育に関する問題を解決しなければなりません。昨年、就学全児童教育発展政策の枠組みの中で、20 万人を越える児童に対応するために、保育所の収容可能数が新規に増加されました。過去何年間もこれに匹敵する成果はありませんでした。

皆さんは、毎週、地方を訪問していらっしゃる方ですので、地方や市町村レベルで、皆さんに注目していただき、集中して取り組んでいただきたいとすることがあります。私は、すでに 1990 年代の人口動態のギャップについて申し上げましたが、私たちには「落ち込み」があります。現在、私たちの人口は増えていますが、数年後、必ず「ゆり戻し」があります。これは、現在、私たちは大量の保育所を整備することができますが、これに対する需要が落ち込むことが見込まれるということです。そのため、私たちは、これについて、他の使いみちを探さなければならなくなります。これが、将来教育施設を拡張できるように、保育所を他の教育施設に隣接して建設することが良い選択と言える理由です。更なる事前の検討や決定が必要です。

しかし、今後 4 年以内に、一部民営の就学前児童教育施設の整備にもよりますが、保育所入所待機者のリストはなくなります。地方政府は、何にもまして、就学前児童保育関連就業者の給与を、教育関係者の給与水準に引き上げる必要があります。これはどんなに遅くとも 2 年以内に行われなければなりません。

私たちは、社会分野に対する連邦の補助を増やす予定です。個々の予算は、社会事業の効率と質を向上させなければいけません。したがって、私たちは、医療に関する資金を大幅に増加させました。医療関係者の賃金も引き上げられる予定です。2018 年までに、資格要件を満たした医師の給与は、地域経済における平均給与と同等にならなければいけません。ロシアの学校を援助する政策により、全てのロシア連邦の地域において、学校教師の平均賃金は、近年では、地域経済における平均給与を超えるようになりました。私たちは、この結果を保持し、教師の平均賃金が平均より落ち込むという逆の傾向にならないようにしなければいけません。

私たちは、医療や教育における給与や社会的地位の向上による、彼らの仕事の質の向上を期待します。教育分野における劇的な変化は、積極的な動機付けや強力な道德基礎なしには成り立ちません。

私が強調したいことは何でしょうか？ 今後数年間で、学童は百万人増えます。これら学童が普通に快適に学習できるよう、事前に行動すべきです。ロシアには、緊急事態にある学校が存在すべきではありません。私たちは、これらの課題を数年以内に解決しなければいけません。そして同じ期間に、地方に 1 万に及ぶ新規の学校を建設し、身体障害児向けの学校の数を 1 万校までに増やす予定です。

さらに、もうひとつ提案があります。大統領選挙の準備期間中に、私たちは全ての投票所にビデオモニタリングシステムを導入しました。議員の中には、連邦政府のかんりの予算をこれに費やしたことを批判する人もいました。私は、この設備が、私たちの教育のために用いられるべきであり、通信チャンネルや高速インターネットも含めて、遠距離学習や、大きな図書館や博物館の資産に学童がアクセスすることを発展させると信じております。これは、絶対的に公正であり、これを基盤に全てが可能となります。

私たちの第一の原則は、疑いもなく、教育の基準に合致した学校無償化です。私は、学校に現存するいわゆる「割増支払サービス」が、学校無償化を損なう脅威になると強調したいと思います。例えば、ある学校では生徒がどれだけ支払いが必要な授業に参加するかでクラス編成が決められたり、学校は連邦の資金により入学試験に対する総合的な教育を

行わなければならないにも拘らず、統一連邦入試のために準備を行う学生向けに追加で有償の相談が行われたりもします。このようにして、学校は社会的流動性の根源と言うよりも、社会的不平等の根源になっています。有償のサービスがあっても良いが、それは、主要な教育システムの外にあるべきことを明確にしましょう。

この観点から、私は、社会分野の発展のために、基本的なアプローチに注意することが重要であると感じています。連邦は、何万と言う保育所、学校、病院、診療所、福祉施設の日々の業績を管理するのではなく、無条件に、国民に無料で質の高いサービスを保証すべきです。

連邦法第 83 条は、社会的機関の独立性を大幅に拡大しました。それは、社会福祉の質や利用可能性や、社会分野の透明性を増加させ、同時にそこで働く人々のやる気を生み出しました。その使命は、直接的な偽装的強要や、連邦や地方公共団体の機関によって提供されるサービスは無料であるという誤った印象を無くすことです。

私が強調したいのは、近代的な迅速に発展する社会分野が今後 6 から 10 年以内にロシアに設けられるべきであるということです。これを達成するためにどのような総合的組織的問題が解決されるべきでしょうか？

1 番目が、効率性の指標、公共評価、職業規定や倫理規定の採用などを含む、公共機関の実績の品質評価のための独立したスキームを創設することです。

2 番目が、近代の社会福祉とは、持続的に発展する社会における国民に必要とされるものとみなすことです。

3 番目が、社会分野が、質の高い教育や、医療、社会扶助の提供に応じる用意のある、企業家や、非営利団体や公共団体に開かれることです。

もちろん、私たちは、伝統的な組織によって行われる社会的義務についても、最も良い環境を作り出す必要があります。

私たちは、官民協働についての法律を見直し、必要とされる決定を行う必要があります。私は、社会分野における私たちの事業を求める上で、官民協働が重要な手段となることに自信を持っています。

ロシアの文化は、人間の潜在能力の開発や、ひとつの国家としての国民のアイデンティ

ティールを保つために非常に重要な基盤です。

私たちは、ロシア連邦文化プログラムを承認し、2000億ルーブルの配分が計画されています。私たちは、間違いなく、地方政府や市町村による、新たな文化的建造物や、劇場、図書館の改修・建設を助けます。私は、小さな町や村に特に重点が置かれるべきであると考えています。420億ルーブルに及ぶ資金が、ロシア国民の文化遺産の修復に用意されています。

もうひとつの優先事項は、博物館の開発です。それは、社会生活や国家の記憶の保存において非常に重要な役割を果たし、世代間の歴史的なつながりを確保するものです。博物館をサポートする予算は4倍に増やされ、今後の6年間で670億ルーブルに達します。

私たちは、全ての国民の居住地に関係なく、全国に情報技術を導入します。これにより、全ての国民が、国や世界の文化財にアクセスすることが可能となります。私たちは、全国展開の電子図書館や、国立文化財団提供の映画や劇場公演の無料オンライン鑑賞を開始する予定です。

文化への接触は、非常に若い年代から始まります。そこで、私の主張の中で、児童芸術事務局を創設し、若い芸術家のグループに、競争によって与えられる助成金を増額することを提案したのです。

さらに、私は、全てのロシアの若者が読むべき100冊の本と言うアイデアが、国民の間で広い論議を生んだことを喜んでおります。私たちは、疑いなく、文化的な職業の社会的地位や、生活水準を引き上げなければなりません。私たちの使命は、彼らの報酬を徐々に引き上げ、他の予算が支給される経済分野の平均報酬に並ぶものとするということです。

議員の皆さん、今後の10年間に、私たちは、不変の住宅問題において、根本的な進歩を行うために必要とされるもの全てを与えられています。政府のサポートや、住宅ローン、一戸建てや共同住宅の開発、手ごろな価格の賃貸住宅の開発などにより、ロシアのほとんどの家庭は、家を有する機会が与えられることとなります。

2011年に、住宅建設量が再び増えました。1990年以降最も大きな数値で、総計780,000になります。建築面積では、昨年より少し少ないのですが、小規模住宅の建設数は、事情における需要も多く、最大でした。

私たちは、2015年までに、1.5倍の9000万平方メートルまで建設を増加させる計画です。これは、毎年150~200万戸の住宅や小規模住宅の新設を意味します。

この分野における、明白な原則とは何でしょうか？1番目は、手続き上のハードルを減らして、土地や建物の市場への導入を継続することです。私は、これについて、すでに話しています。建設業界の算出によれば、建設のための全ての手続きを通過するために、総コストの30%がかかるそうです。多くの問題は、地域計画や、土地利用、建築についての法律ルールの欠如にあります。私は、私たちが、手段を開発し、人的資源を求め、できるだけ速く本事項を解決すべきであると考えます。

2番目は、私たちが莫大な土地資源を持っていることです。地方の道路や関連設備のネットワークの開発や、大都市周辺の集積範囲を広げることが必要です。明らかに、大都市周辺に建設することがより簡単で経済的です。私たちは、連邦政府や職員に、非効率に利用されている土地を挙げさせ、建設に利用させる予定です。

3番目は、もしも私たちがインフレを抑えることができれば、来年の住宅ローンのレートは、6.5%になります。私は、これらは解決できるものと考えます。例えば、若い専門家や、若い家庭には、もっと低いレートを提供できるかも知れません。実際、そのようなプログラムがすでに進行中です。20年から25年にわたるローンが供与されることが可能です。地方政府はもちろんこの特別な提案に飛びつくでしょう。例えば、頭金を補助することにより、住宅ローンは実際に機能し始めるかもしれません。

ところで、ご存知だと思いますが、私たちはすでに若い教師向けに、低レートの住宅ローンの実施を始めています。私たちは、また、住宅開発資金の活発な利用に着手しています。これは、事業契約の作成、土地の割当、住宅の共同組合の施設を無料で供給することなどです。本基金が委託され、建設途中にある住宅建設事業は、総計で10百万平米メートルにのびます。2012年から2013年に、全ての従業員は、永住用の住居を与えられます。

私たちはまた、チェルノブイリの退役軍人の住宅問題についても完全に解決しました。移住者に対する住宅証明書の数は何度となく増やされました。地方政府は、早々に、詐欺的な住宅投資に関する問題を根本的に解決すべきです。

私は、2年前に地方政府の代表者が、この問題を解決すると言っていたこと、そして彼らがこれを行わなければいけなかったことを強調いたします。これは、連邦政府が取り扱うべきものではありませんが、地方政府レベルでこれがどのように解決されるのかを注意深く見ています。これについて多少の進歩はありますが、困難もあります。これらは深刻であり、人々はだまされていると思っています。かれらに助けが必要です。この問題は、解決されているところです。個々でそのような人々にどれだけの住宅が供与されたかについて



で数字をお伝えることはいたしません、かなりの数になります。進捗はありますが、まだすべきことが沢山あります。大切なことは、これは対応できる問題であるということです。

もうひとつ、緊急の事項があります。私たちは、**2015**年に向けて、住宅設備と改築向けの基金の実施を拡張する決定をしました。私は、この基金は、ロシアの老朽化した住居の完全な除去に集中して利用されるべきであると考えます。国民は、そのようなスラムを消し去るべきです。そのような住居に住むことはできません。それは、国民の健康や安全に対する直接的な弊害となります。

手ごろな価格の快適な住居は、透明性のある正当な価格の高品質の公共サービスを意味します。住宅分野は、競争に開かれ、民間投資に魅力的な近代的で効率的な部門に変えられるべきです。設備の価格は合理的で、居住者や事業者に見込み可能なものでなければなりません。私たちは少なくとも今後**3**年間の貸出レートを事前に定めることを提案しているのもこのためです。

政府が、**2012**年から**2013**年にかけて、年初のインフレを抑えるために、天然ガスや電気や暖房の料金改定を年度の間に行うこととしたことを思い出してください。料金の引き上げは、多くの場合、計画されたインフレレベルにより限定されています。地方政府の代表者は、公共料金が高騰しないことを確認するよう指示されています。私たちは、この状況を管理下に収めようとしています。皆さんもこれに加わってください。

今年1月のインフレ率は、昨年度が**6.1%**であったのに対し、**3.7%**でした。計算により、インフラの独占価格の値上げが、これに貢献していることが証明されました。この観点から、私は、新政府が、自然に独占となっている事業の料金改定指標の水準やメカニズムを、慎重に策定すべきであると考えます。費用構造、投資事業の透明性、そのような企業の資金調達方法については、適切な検討が必要です。国民や製造業者は、他人の非効率に対して支払いを行うべきではありません。これは明白なことです。

問われている価格とは、低いインフレ率のことです。これは何を意味するのでしょうか？それは、教育貸付や、手頃な住宅ローンを意味します。実際、それは異なった経済を意味するのです。

議員の皆さん、来年**12**月は、連邦憲法と現在の国会の成立後**20**周年を迎えます。一方、私たちは本国会が、ロシアの歴史の中では、**1906**年の最初の国会から数えて**10**番目のものであることを忘れてはいけません。私は、私たちが協力して、ロシアの統治システムの

中で、連邦議会の威信と重要性を高め、また、国内の地方議会や地方評議会の役割を高めることが必要であると確信しています。

私は、議会審査制度を改善し、継続して司法制度の強化を図り、法執行機関の職員を強化・革新し、汚職を撲滅するために、連邦議会と働く準備ができています。これらは疑いなく重要な課題であり、与党と野党の間で共有すべきものなのです。

私としては、憲法上の機関の中での建設的な交流を望みます。立法府と行政府の部門が互いに尊重し合い、ロシア経済の発展のために一緒に行動し、私たちの国民のために、より質の高い生活を実現することを望みます。もっと言うと、これが、今日、社会に政府がひとつのものとして信頼されるための唯一の方法なのです。

議員の皆さん、世紀の変わり目に、私たちの国民に襲い掛かった大混乱から国を復興させた後で、私たちは、実質的に旧ソビエト時代と一線を画しています。目前には、新たなロシアの発展の段階、すなわち、今後何十年間にわたり私たちの国民の繁栄を保証する、国家、経済秩序・社会秩序、社会構造を創造する段階が待ち受けています。

私たちが、ロシアの歴史の年と称される年にこの仕事に取り掛かったことは、象徴的なことです。ロシアの運命と、何千年もの旅は、歴史的な標石によって記されてきました。私たち世代は、この偉大な歴史と、この偉大な祖国を築いた優れた人々にふさわしい者とならなければいけません。今日私たちは、何世紀も前の先祖たちと同じように、ロシアに対する信頼と愛情に励まされています。私たちは、成功を収めるでしょう。

ご清聴ありがとうございました。

以上